



復興まちづくり協議会・地権者連絡会 ニュースレター

撓まず 屈せず がんばろう釜石!!

復興まちづくり協議会・地権者連絡会を開催しました



開催日	令和元年10月31日(木)
時間	14:30~15:44
場所	唐丹地区生活応援センター
参加人数	34人

議題	1. これまでの経緯 2. 最新の土地利用計画について 3. 漁具置き場整備について 4. コミュニティグラウンド(仮称)整備について 5. 公園環境整備について 6. 消防屯所について	7. 今後の工事スケジュールについて 8. 住宅再建に係る補助制度等について 9. 防潮堤について 10. 意見交換
----	--	---

当日はこれらの議題について担当より説明いたしました。出席された皆さまからは、最新の土地利用計画や避難所、小白浜漁港海岸災害復旧工事についてなど様々なご意見ご質問をいただきました。

議題の概要

最新の土地利用計画について

最新の土地利用計画図



漁具置き場整備について

移転促進区域を有効利用するため、地域の産業振興及び地域の生業形成に資する漁具置き場の整備を実施していく予定です。



現地写真【全景】



小白浜漁港海岸災害復旧工事





今回の台風19号のような想定外の雨に対する治水対策はどのように考えているのか。

普通の道路、河川の場合は雨水量を確率で計算し、水路の断面や道路の構造をつくっております。一部報道でも案内されておりますが、最近では予測できないゲリラ的な豪雨などもあり、その確率計算での道路、河川の改修がもう想定の中に入ってこないのではないかという専門家の意見もございます。そういった意見も広く伺いながら、今後対策を行っていかねばならないと考えております。

今度の大雨で、山で伐採された木などが川や道路に流れてきているが、沢水が流れるところや、川のそばなどに丸太等を置かないような法律的な規制などはないのか。

伐採した木などは、林業関係者と、地権者が両者合意の基その山に置くという形になっております。今後またこのような大雨などの際には急斜面のところ等、影響が出そうなところはなるべく外へ出すなど、その時々に応じて対応していただければと考えております。

林業関係機関でそういう林業関係者になるべく沢水が流れる付近や川が流れ出そうな場所に丸太等を置かないようお願いをしたらどうか。

林業関係の方々には、丸太等が流れてこないような対策を講じていただくよう申し出をしていきたいと考えております。

第1陸閘、第2陸閘は遠隔操作ができると思うが、第3陸閘の水門はどのようになるのか。

第3陸閘につきましては、起立式、浮体式といまして、水が来ると上に浮かぶ形で、L型に浮き上がって閉じるというような構造になっております。

途中までしか上がってないような感じがするが、本当に浮くのか。

実験等ではきちんと上まで立って、周りと一緒にできるようになっております。

唐丹地区にも早くデイサービスなどの介護施設を整備していただきたい。

現在、事業者にはこの唐丹地区で事業を展開していただきたいということで相談をしております。釜石市としては唐丹地区にも介護施設が必要だという前提で物事を考え、できるだけ早く対応をしていきたいと考えております。

今回避難所になっている学校の体育館が浸水したということで、津波の際は体育館でよいと思うが、大水の際の避難所は浸水しない頑丈な所のほうがよいのではないのか。

体育館が浸水したと考えられる原因の空気孔や建具には、水が入らないよう対策をいたしました。また、側溝もうまく機能するようにグレーチングと呼ばれる網のようなものに取り替えさせていただき、水が入らない対策をとらせていただきます。当面の間は児童館の2階と学校の校舎を含めて避難所として使うということで調整をしております。

2階だと階段があり、高齢者には大変なのでそこを考えてもらいたい。

安全確保するためには高いところに上がってもらうことも必要ですので、車椅子の方や、ひざが痛い方となれば福祉避難所など違う場所も含めて早めに相談いただいて避難していただきたいと考えております。

どこに避難するといっても、車がない場合はバスなどしか交通手段がないので、そういうところも考えてもらいたい。

雨が降り出してから避難ではもう遅い状況だということを理解していただき、台風が明日、明後日来るということであれば、公共交通機関を使ってでも早く避難するということを自分たちでも考えていただきたいと思っております。また、入りづらいような避難所につきましては、釜石市といたしましても今後検討していきたいと考えております。

バス停に雨風をしのげる程度の構造物をつくってほしい。

バス停の整備のご要望はかなりありますので、年次計画の中で少しずつ整備している状況です。引き続き生活安全や地域交通のことで皆さんとお話しする機会もあると思っておりますので、そういったときにもご要望を言っていただければ、市の中で調整するときに配慮できると考えております。

復興事業については、可能な限り皆さまの期待に応えられるよう進めていきたいと考えております。

1日も早い復興事業の完了に向け、今後も全力で取り組んで参りますので、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

